



防火設計におけるリスク評価

防火研修会

2021 年
7/27 水曜日
8/31 火曜日

Risk

建築物の用途、形態、建設技術は時代とともに急速な変化を遂げてきた。建築生産の主体は基本的に民間企業であり、建築物を社会的要請に適應させて行くのは民間企業の創意・工夫である。

建築防火関係で、最も顕著な発展があったのは耐火部材や防火材料の開発である。これらに関しては試験法が定められ、加熱条件と判定条件が明示されたことにより、様々な分野の企業が参加して夥しい製品が世に出された。これらは防火性のみならず、コスト、利便性、美観性などの点でも創意が組み込まれたものが少なくない。また建築設計に関しては防火総プロにおいて初めて設計火源と安全判定基準を導入されたが、後の建設大臣認定の申請にも多くの創意が見られた。

性能的火災安全設計の発展のためには設計火災条件と安全判定基準を明確にすることが肝要であるが、それらは確保される火災安全性と経済性について社会が満足できるレベルのものでなくてはならない。しかし、火災安全性と設計火災条件の関係は一般人のみならず建築主、設計者、行政などの関係者でも殆ど理解不能であり、火災リスクの概念によって初めて理解に近づくことができる。

本セミナーでは、性能的耐火設計と避難安全設計について、許容される火災リスク及びそれを基に設計火災条件を導く方法の考え方について解説する。

- ・ 講 師 京都大学名誉教授 田中哮義
- ・ 主 催 NPO 法人 日本防火技術者協会
- ・ 開催日時 2021 年 7 月 27 日(水) 16:00～18:00
テ ー マ リスク基盤の耐火性能検証
- 2021 年 8 月 31 日(火) 16:00～18:00
リスク基盤の避難安全検証
- ・ 開催方法 ZOOM によるオンライン開催
- ・ 参加申し込み
防火研修会「リスクによる防火設計 参加希望」と書いたメールを下記アドレスまで送付ください。
(1 回目、2 回目、両方のいずれかも明記ください)
後日参加案内を送付いたします。
日本防火技術者協会事務局 info@jiem.jp